

7 平成 27 年度 事業のまとめ

横浜市立図書館では、横浜市立図書館アクションプラン（第 2 期）に基づき、毎年「図書館の目標」を策定し、ホームページなどで公開しています。平成 27 年度は、アクションプラン及び図書館の目標に基づき、以下の事業を実施しました。

（重点項目 1）市民の読書活動を支える図書館

（1）地域特性に応じた読書活動の推進

- ・ 緑図書館・都筑図書館（20 周年）、金沢図書館・港北図書館（35 周年）で周年事業を実施しました。（P. 33 表(4)）
- ・ 各区の読書活動推進目標に基づき、区役所と連携して、各種事業を実施しました。区内読書施設のマップの作成・配布（平成 26 年度から平成 27 年度までで 14 館）、区内施設と連携した読書フェスティバル等（11 館）、読書をテーマとした講演会（11 館）等を行いました。
- ・ 本市に拠点を置くプロサッカーチームである横浜 F・マリノスと、中央図書館・港北図書館・都筑図書館・山内図書館で連携事業を実施しました。



「がんばれ！横浜 F・マリノス」

【横浜 F・マリノスとの連携事業】

図書館名	内容（タイトル）	開催日	参加人数
中央	「日産スタジアムに移動図書館はまかぜ号がやってきた！」	5/10	291 人
	食育講座「横浜 F・マリノスに聞く！体を強くするごはん」	8/9	10 人
	パネル展示「体を強くするごはん～『教えて食育』から」	7/22-8/16	
	企画展示「資料で発見！横浜 F・マリノスの歴史」	11/25-12/20	
港北	横浜 F・マリノス「こうほくサンクスマッチ」お絵かきコンテスト	募集：7/30-8/16 展示：8/30-9/18 表彰式：8/30	
	企画展示「がんばれ！横浜 F・マリノス」	2/20-3/8	
	企画展示「知っていますか？電動車椅子サッカーの世界」	3/16-3/29	
都筑	先生は横浜 F・マリノスのコーチ！子どもの丈夫な体づくり教室	9/27	24 人
山内	企画展示「この街には、横浜 F・マリノスがある。」	6/16-7/20	

（2）家庭での子どもの読書活動の支援

- ・ 図書館でのおはなし会や、地域施設等での出張おはなし会を実施しました。実施に当たっては読み聞かせボランティアの方に活躍していただきました。（開催 1,887 回、うちボランティア参加 1,173 回）（P. 34 表(5)）
- ・ 子育て支援の講座として、保護者・市民向け読み聞かせ講座を実施しました。（29 回、延 636 人参加）（P. 35 表(6)）
- ・ 家庭での読み聞かせに向く絵本のリスト「おひぎにだっこで楽しむ絵本」を作成し、区役所の乳幼児健診等で配布しました。（30,000 部）
- ・ 企画展示「子どもの本で知る世界の国々」等、多文化共生の取組を実施しました。
- ・ ホームページ「今月のおすすめ本」をリニューアルするとともに、これまでに紹介した本を書名や著者名から検索できるようにしました。（12 月）



多文化おはなし会の様子

(3) 学校への支援と学校教育への協力

- ・学校司書研修や交流会に講師として司書を派遣し、学校司書育成を支援しました。(研修4回、交流会1回)
 - ・学校向け支援プログラムを各図書館で作成し、区内の小・中学校に対し、教職員向け貸出や図書館見学等の支援サービスを実施しました。(P.22)
 - ・学校向けセット貸出図書*について、新しいテーマの追加や冊数の充実を行いました。(新テーマ4種、360冊。既存セットの追加 1種類、120冊)
 - ・学校図書館への支援として、「新刊案内：図書館から学校におすすめの本」の定期的な情報提供を開始しました。(12月)
- *学校向けセット貸出：学校の授業で取り上げることが多いテーマ等について、テーマごとに20冊から40冊程度にまとめて貸出ししています。

(4) 地域の読書活動への支援

ア 読み聞かせ等ボランティアの育成と支援

- ・地域で活動するボランティア向けに、読み聞かせ講座等を実施しました。(P.35 表(7))
- ・図書修理や書架整理など、図書館の環境整備にボランティアが活躍しました。(P.35 表(8))
- ・神奈川県図書館協会から、図書館で活動するボランティア団体が表彰されました。(虹の部屋(山内図書館)、あさひ茶花道協会(旭図書館))

イ ボランティア交流会等の実施

図書館や地域で活動するボランティアの交流会や懇談会を実施しました。(P.37 表(10))

ウ 横浜読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」

11月1日(日)に、教育委員会事務局主催で新都市ホール・センタープラザ(そごう横浜店9階)を会場として、横浜市読書活動推進ネットワークフォーラム「横浜読書百貨展」を開催しました。(来場者数延4,000人)



(5) 障害のある方への情報提供支援

- ・中央図書館で製作した録音図書を、国立国会図書館の視覚障害者等用データ送信サービスを通じて配信しました。(40件)
- ・中央図書館での録音図書作成に、長年音訳者としてご協力いただいている方が、社会教育功労者表彰(文部科学大臣表彰)を受けました。
- ・障害の有無に関わらず、障害について考えるきっかけづくりや関連の図書館資料を紹介する新たな企画事業を実施しました。

【障害についての企画事業】

事業名	開催日	内容
視覚障害者向けライブラリーツアー	11/24	他の利用者がいない休館日に、閲覧室だけでなくふだん入ることのできない書庫で棚や資料に触れていただくとともに、対面朗読など図書館の利用方法を紹介
見えない・見えにくい障害を知る～ヒューマンライブラリー&講演会	12/5	外見から気づかれにくい障害のある人(視覚障害や聴覚障害、喉頭摘出、精神障害等)が、「生きている本」として「読者」と対話する「ヒューマンライブラリー」と障害者支援に関する講演会の実施及び関連資料の展示

【重点項目2】地域の情報拠点としての図書館

(1) 市民の課題解決と読書活動に役立つ資料の収集

横浜市立図書館蔵書5か年計画に基づき、各館ごとに年間資料収集計画を策定し、資料の収集を行いました。

(2) 資料の活用と情報発信

- ・デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」収録資料を紹介するページを新規作成しました。(12月)
- ・デジタルアーカイブ「都市横浜の記憶」に、デジタル化資料を追加・公開しました。(500点)



- ・各区局や類縁機関、出版社などからの申請を受け、中央図書館で所蔵している貴重資料の画像データを提供しました。提供したデータは、書籍やカレンダー、テレビ番組などで活用されました。
- ・所蔵資料を活用した展示を実施し、関係機関と連携・協力することで展示内容の多様化及び充実を図りました。(66回)

【中央図書館での主な企画展示】

展示名	期間	内容
地図でみる横浜の移り変わり展	6/19-7/20	開港直後から横浜市の第六次市域拡張に至るまでの約80年間の変遷を、中央図書館所蔵の地図及び関係資料により紹介。
描かれたダンス～dance in pictures!	8/18-9/23	「Dance Dance Dance @YOKOHAMA2015」イベントに合わせ、漫画「昴」複製原画の他、舞踏に関する中央図書館所蔵の浮世絵や図書を展示。(共催：文化観光局、横浜アーツフェスティバル実行委員会 協賛：小学館集英社プロダクション)
明治・横浜・彩色寫眞展	1/13-2/14	中央図書館で所蔵する明治期写真アルバム4点及びアルバムに収録されている横浜の風景写真31点(複製品)を展示。(複製品制作協力：富士ゼロックス株式会社)
東日本大震災関連企画展示「震災から5年」	3/8-4/4	被災地自治体や市民団体、本市各局との連携・協力により、被災地の復興状況などを写真や映像で紹介。震災文学や防災関連書など所蔵資料をテーマで分け、中央図書館各フロアでの展示を同時開催。(資料提供・協力：(社)東北地域づくり協会、国立国会図書館、さわや書店フェザン店、せんだいメディアテーク他)



企画展示「震災から5年」



企画展示「地図でみる横浜の移り変わり展」

(3) 市民の学習活動・課題解決の支援

- ・中央図書館4階社会科学フロアに「社史コーナー」を新設しました。社史約250冊を常備しています。(2月)
- ・利用者向けに「新聞記事データベース使い方相談」を開催しました。(11月)
- ・横浜市立図書館蔵書検索ページ内「レファレンス検索」及び、国立国会図書館レファレンス協同データベースに、レファレンス事例を追加・公開しました。(70件)
- ・本市区局及び専門機関と連携し、ライブラリーカフェ等の講座を実施しました。(P.29 表(2))
- ・調べ方のヒントやテーマ別の図書リスト、蔵書検索では探しにくい資料の目録を作成しました。(新規16点、改訂13点)(P.36 表(9))



社史コーナー

事業の実施にあたっては、企画展示・講座・ブックリストなどを積極的に組み合わせ、多様な切り口からの学習支援・情報発信に努めました。

【主な事業例】

「生きもののつながりキャンペーン2015」 連携先：環境創造局	
中央図書館	地域図書館
①企画展示「知ろう！伝えよう！生きもののつながり」5/8-6/14	①おはなし会
②図書館で育てる「生きもののつながりの木」5/8-5/31	旭図書館、港南図書館、緑図書館、南図書館
③大型映像作品「いきものがたり」上映5/22、23、24	館
④おはなし会「絵本でつながろう、みんなと生きもの」5/13、20	②企画展示
⑤第37回ヨコハマライブラリーカフェ 「絶滅していく野生動物を救え～横浜市繁殖センターの活動・動物園の役割～」6/6	旭図書館、港南図書館、港北図書館、都筑図書館、山内図書館
⑥ブックリスト配布 「はじめよう、bな暮らし～生物多様性を横浜で考える～ 改訂版」(bはbiodiversity(生物多様性)のこと)	

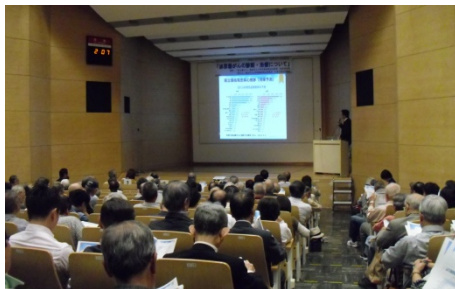


第37回ヨコハマライブラリーカフェ
「絶滅していく野生動物を救え～横浜市繁殖センターの活動・動物園の役割～」



図書館で育てる「生きもののつながりの木」
葉っぱのメッセージカードで「生きもの
つながりの木」を育てる参加型イベント。

「医療・健康情報フェスタ 2015」 連携先：横浜国立大学病院／理化学研究所／西区役所	
PART 1 がんについて知る	PART 2 医療を知り、健康について考える
①横浜国立大学医療講座「泌尿器がんの診断・治療について」 (10/15) 「前立腺がん」 横浜国立大学附属病院泌尿器科 林成彦 助教 「腎がん」 横浜国立大学附属病院泌尿器科 矢尾正祐 主任教授	①第 40 回ヨコハマライブラリーカフェ 「遺伝子とアレルギーのかかわりについて」(11/28) 広田朝光氏 (理化学研究所) ②第 41 回ヨコハマライブラリーカフェ 「最先端のゲノミクスがひらく再生医療」(12/13) 吉原正仁氏 (理化学研究所)
②講座連動展示「がん情報展～がんをもっと知る～」 10/1-10/30	③健康づくり情報パネル展 (西区福祉保健課) 11/13-12/15
③ブックリスト配布「がんについて知る」	④ブックリスト配布「第 2 期 健康横浜 2 1」



横浜国立大学医療講座
「泌尿器がんの診断・治療について」



健康づくり情報パネル展

(4) 人材育成の推進

- ・司書の専門的能力向上のための研修を 40 回実施しました。
- ・「司書人材育成計画 (平成 22 年度策定)」を見直し、新たに「司書職人材育成計画」を策定しました。(平成 28 年 3 月)

重点項目3 誰もが使いやすい図書館

(1) 港南台地区センターでの図書取次サービス開始

平成 28 年 1 月 13 日より、港南台地区センターにおいて、予約した市立図書館の図書の受取と返却ができる図書取次サービスを開始しました。

(2) 山内図書館の指定管理者による運営

第 1 期の指定管理期間 5 年間 (平成 22～26 年度) の評価を受けて、平成 27 年度から、第 2 期 (平成 27～31 年度) の運営を開始しました。

(3) 利用者懇談会等の開催

市民の意見を反映した図書館運営を進めるため、各図書館で懇談会等を開催しました。
(P. 37 表(10))

(4) 自主財源の確保及び経費の節減(広告事業)

ホームページのバナー広告掲載、館内のパンフレットラックの設置、広告を掲載した印刷物の製作などの図書館広告事業による平成 27 年度の歳入額は 3,868 千円、節減額は 89 千円でした。